



青少年友好親善使節団とは

ボッパルト市と青梅市は、友好親善と国際的視野に立つ青少年の育成を目的とし、使節団の派遣と受け入れを行っています。使節団員は、それぞれの市でホームステイをし、文化体験等さまざまな経験を通して市民と交流を行います。帰国後も、友人となった方と交流を続け、両市の架け橋となっています。

今回は、ボッパルト市のイェルク・ハーゼンアイアー市長を団長に、15～20歳の青少年10人とボッパルト市役所職員のマティーナ・ヴァイリッヒ氏の計12名が来青しました。

ボッパルト市ってどんなまち？



ボッパルト市の概要はこちらから

ドイツ連邦共和国西部のラインラントプファルツ州に属し、フランクフルト市から北西へ80kmのライン川沿い左岸に位置する市です。約1600年前のローマ時代にすでに都市としての形が整った歴史の古い優雅な町で、観光地、保養地、また、ワインの産地としても有名です。



ボッパルト市長 イェルク・ハーゼンアイアー氏

この両市の姉妹都市関係は非常に特別なものです。1万km離れていて、あらゆる文化に違いがあります。しかしながら、私達は心が通じ合い、とても近い関係にあります。このような経験をする事ができ、とても幸せで感謝しています。

使節団に密着！

市役所訪問

大勢待市長はドイツ語で歓迎のスピーチし、市長室や議場などを案内しました。団員たちも練習してきた日本語で挨拶をしました。

ボッパルト市から持参したライン川の石を市役所前庭に置き、友好の鐘を鳴らしました。



ホストファミリーとの交流

各家庭で、市内外に出かけて、日本の文化に触れる体験をしました。

ホストファミリーからの声かけや、過ごした毎日はかけがえのない時間だったようで、最終日は涙で別れを惜しんでいました。



最終日に自宅で料理を作ってくれました



平ファミリー

着物で茶道体験



御岳にある「茶の文化フォーラム」で茶道を体験しました。着物姿で茶道の歴史や茶わんの受け取り方などの作法を学びました。



だるまづくり

世界に一つだけのだるまを作り上げました。だるまの由来の説明に、団員たちは関心していました。



Ome Blue (青梅ブルー) のだるまを作成しました

御岳山観光

武蔵御嶽神社では、宮司さんから神社の建物や歴史などのお話を伺い、正式参拝しました。



御岳山にはたくさんの神様が祭られていることに驚きました



リーケ・クリスティン・ミュラー